



2018 | Spring



自動車整備の最新がわかる ANZEN NEWS

# CHARGE VOL.79

## 01 TOPICS 大型車の次世代整備をご提案 『全国縦断 大型車整備機器展示会』開催

## 02 ユーザーズレポート

02 | **小型** ホンダカーズ静岡西 ホンダオートテラス浜松

04 | **大型** 東京日野自動車株式会社 川口支店

## 06 特集 ANZEN100年の歩み

## 08 新商品のご紹介

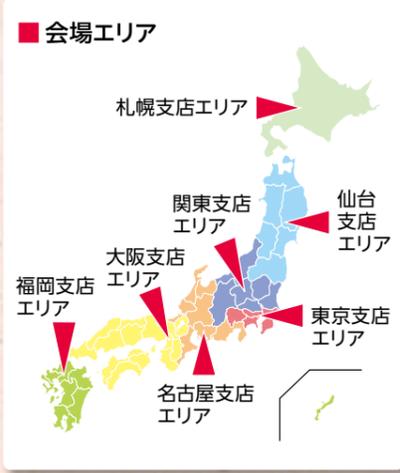
### TOPICS

大型車の次世代整備をご提案

## 『全国縦断 大型車整備機器展示会』開催

2018年春より、安全自動車は大型車用整備機器に特化した展示会を日本全国7会場にて開催いたします。効率化や省力化を実現する最新商品の実演をはじめ、ここでしか聞けないお役立ち情報満載のセミナーも同時開催します。注目の商品を実際に見て・触れて、良さを実感していただく絶好の機会です。お近くの会場へぜひお運びください。

開催日時や会場に関しては、決定次第、随時ホームページに更新してまいりますのでご覧ください。



開催日時・会場などの詳細はこちらから

## NEW 新商品紹介



掲載商品のカタログはこちらからダウンロード!

新発売

### 回転工具台車 ART

- 使用頻度の高い工具を自由に配置してスッキリ収納
- ペダルを踏むと90°ごとに台車が回転
- ストール間に置くことで、双方のメカニックが工具を使用でき作業性が向上

扉内部にも収納スペースを確保



\*写真の工具・一部フックは別売りです

新発売

### 廃液回収カート WRE-200A



\*写真のドラム缶は付属しておりません

- 部品洗浄機などの廃液をドラム缶へダイレクトに回収! 廃液回収・移送を効率化
- 強力ダイヤフラムポンプ内蔵により、短時間で回収が可能
- ドラム缶の昇降は足踏みペダルと移動用レバーでラクラク

新発売

### スマートダイヤグ 1メーカー対応型 スキャンツール

- 自動車メーカー7社の中から任意で1社選択。低コストな1メーカー対応型が新登場
- お手持ちのスキャンツールにもう1台、DPF強制再生専用機としてオススメ



対応メーカー	いすゞ	日野	FUSO	
	UD	トヨタ	日産	マツダ



## ジャパントラックショー 2018 出展のご案内

2018/5/10(木)~12(土)  
会場: パシフィコ横浜 展示ホールA・B・C・D  
ANZENブース: 展示ホールB

トラック関連業界最大の展示会《ジャパントラックショー2018》に出展いたします。当日はピット工事不要の“モバイルコラムリフト”やアライメント測定システム“トラックカム”など最新機器を多数展示する予定です。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



※前回の様子  
詳細につきましては、ジャパントラックショー2018公式サイトでご確認ください

ANZEN 〒108-0023 東京都港区芝浦4-16-25  
安全自動車株式会社 TEL(03)5441-3412 FAX(03)5441-8848  
ANZENホームページ http://www.anzen.co.jp

- |         |                     |                     |                     |
|---------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 札幌支店    | 札幌市中央区南19条西8-2-21   | TEL(011)511-6241(内) |                     |
| 釧路営業所   | TEL(0154)24-0161(内) |                     |                     |
| 仙台支店    | 仙台市宮城野区日の出町2-2-8    | TEL(022)236-1211(内) |                     |
| 盛岡営業所   | TEL(019)637-8711(内) | 郡山営業所               | TEL(024)942-5311(内) |
| 関東支店    | 戸田市氷川町2-8-31        | TEL(048)447-6881(内) |                     |
| 水戸営業所   | TEL(029)241-0932(内) | 宇都宮営業所              | TEL(028)635-8821(内) |
| 新潟営業所   | TEL(025)274-7131(内) | 高崎出張所               | TEL(027)384-3001(内) |
| 東京支店    | 東京都港区芝浦4-16-25      | TEL(03)5441-3413(内) |                     |
| 千葉営業所   | TEL(043)284-2600(内) | 横浜営業所               | TEL(045)391-9913(内) |
| 名古屋支店   | 名古屋市中川区山王1-4-30     | TEL(052)559-2471(内) |                     |
| 金沢営業所   | TEL(076)248-0499(内) | 静岡営業所               | TEL(054)236-5066(内) |
| 大阪支店    | 大阪市淀川区御幣島2-1-14     | TEL(06)6472-0361(内) |                     |
| 岡山営業所   | TEL(086)434-0259(内) | 広島営業所               | TEL(082)832-3630(内) |
| 高松営業所   | TEL(087)843-6531(内) |                     |                     |
| 福岡支店    | 福岡市東区多の津3-7-7       | TEL(092)623-4646(内) |                     |
| 南九州営業所  | TEL(096)370-7011(内) | 沖縄営業所               | TEL(098)876-3873(内) |
| (株)松本安全 | 松本市大村383-11         | TEL(0263)45-2181(内) |                     |

保守点検のおすすめ ANZEN製品を長くご利用いただくため、保守点検サービス(有料)のご利用をおすすめします。お近くの支店または営業所までお問い合わせください。

ANZENカスタマーサービス 0120-01-6361 当社の製品およびサービス、その他に関するお問い合わせは左記へ。受付時間:月~金(AM9:00~PM5:00)

ANZEN で 検索 http://www.anzen.co.jp

●発行所/安全自動車株式会社 マーケティング部 東京都港区芝浦4-16-25  
●ANZEN NEWS CHARGE 79号 (2018年3月30日発行)  
※外観・仕様は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。



株式会社ホンダカーズ静岡西

ホンダオートテラス浜松



2017年11月、旧店舗の隣接地に移転しグランドオープンしたホンダオートテラス浜松。旧店舗の3倍以上の面積となる約4,000㎡もの敷地を構え、整備工場を大幅に拡充した同店は、東海地区最大規模を誇る中古車販売店です。

●店舗情報  
株式会社ホンダカーズ静岡西  
ホンダオートテラス浜松  
静岡県浜松市中区小豆餅2-3-1  
TEL：053-471-2131  
従業員数：27名  
(メカニック15名)



●今回お話を伺った方



サービス部サービス課  
サービス担当マネージャー  
影山 渉 様  
サービス  
工場長  
石川 勇起 様

東海地区最大規模のオートテラス店がオープン。  
サービス体制を強化し、安心・安全な  
カーライフをサポート

静岡県西・中部地区に16店舗の新・中古車販売店を構える株式会社ホンダカーズ静岡西。顧客が増加し、高まるサービス需要に応えるため、ホンダオートテラス浜松の整備工場を拡充しました。同店を「サービスのハブ拠点」と位置づけ、サービス入庫の受け入れ態勢を万全に整えています。

作業性を追求し、  
将来を見据えた整備工場へ

「機器やレイアウトは、メカニックの作業性や負荷が少なく快適に働ける環境づくりを第一に考えて決めました(影山マネージャー)。整備工場は平ストールを含めた11の整備ストールに加え、検査ライン、洗車ストールを備えています。整備ストールは車検整備、重整備、クイック整備と作業内容に合わせてストールが分けられ、効率向上に寄与するリフトを計10基設置し

ました。

営業担当者の声

ホンダオートテラス浜松様は、東海地区最大規模のストールを誇るオートテラス(中古車販売)店です。建物の制限がありながら最大限工場を有効活用できるよう知恵を出し合い、当社が提案した設備も採用していただくなど、双方の思いが込められた店舗となりました。今後のさらなる発展を切に願うと共に、これからも設備・機器を快適にご使用いただけるよう、アフターフォローをしっかりと行なっていきたいと思っております。(静岡営業所 石川)



左：影山マネージャー 中央：石川工場長 右：静岡営業所 石川

検査ラインは、カラー画像処理方式ヘッドライトテスターや、ハイブリッドテスターなどの最新機器を導入し、車検ラインシステムを構築しています。「ラインマスター」はモニターに表示されたガイドラインに沿って検査を進められるので、手書きだった頃に比べて作業性が非常に良くなりました。以前より15分は短縮できていると思います。新規導入したヘッドライトテスターも操作性・視認性が良く、検査員から今

までのヘッドライトテスターより使いやすい、作業が速くなったといった声が上がっています(石川工場長)。

また、同店は車検・点検作業時のコンプライアンス対策として入庫車両の画像撮影・保存を行っており、一連の作業を効率化するため、タブレット版車両画像取得装置を導入しました。同装置は主に検査ラインと車検整備ストールで使用されています。

「今まではデジカメで撮影をしていましたが、タブレットで車検証を読み取り、車両の撮影をするだけで車両情報を自動で登録・紐付けできるため、手間が掛からず便利です。今後入庫車両の画像撮影・保管に関する取り組みがより一層厳しくなっていくであろうことを考えると、今のうちからこのような装置があるのは良いことだと思えます(石川工場長)。

サービス需要に応え、  
さらなるCS向上を目指す

同店の整備入庫目標は月間1500台、そのうち車検入庫目標は月間200台としていきます。今後の取り組みについては「クルマの技術進歩とは裏腹に、人口減、若者のクルマ離れなど、将来的に自動車業界は厳しい局面に立つことが予測されます。だからこそ、お客様の要望に確実に応え、満足していただけるサービス提供ができる店舗となるよう、最新鋭の整備工場を作り上げました。今後も磐石な体制でお客様に安全・安心・快適なカーライフを提供し、いずれは東海地区で一番と呼ばれるような店舗にしていきたいです」と、影山マネージャー。体制を強化し再出発した同店は、お客様に喜ばれるサービスを提供し、地域ナンバーワン店舗を目指します。



▲専用タブレットで車検証のQRコードを読み取り入庫車両を撮影することで、画像と車両データを自動で紐付けする「タブレット版車両画像取得装置」。登録データはサービス事務所に設置したパソコンで参照・印刷ができる



▲光の色味を判別できる「カラー画像処理方式ヘッドライトテスター」。検査ライン前面には横3m、縦1mの大きな姿見を設置し、検査業務を効率化



▲プレート受台・アーム兼用タイプの「ファンタスリフト」は様々な車種の整備などに、アームタイプの「アルネオリフト」は足回りや重整備などに、ドライブオンタイプの「マルチリフト」はクイック整備などに活用



▲見える化を図り設置されたショールームウィンドウは、お客様とのコミュニケーションを円滑化し、信頼関係構築に貢献する



◀洗車ストールにはスイッチ1つで下回り洗浄まで可能な「下部洗浄装置」連動の門型洗車機を導入し、洗車作業を効率化



▶常時約100台もの車両を在庫する大規模な中古車展示場。休日も多くのお客様で賑わいを見せる

- 1 アルネオリフト
- 2 ファンタスリフト
- 3 マルチリフト
- 4 車検ライン  
(カラー画像手動HL  
+ラインマスター  
+ハイブリッドテスター  
+マルチリフト)
- 5 洗車ストール  
(門型洗車機+下部洗浄装置)
- 6 タブレット版  
車両画像取得装置用パソコン



掲載機器の詳細カタログはこちら



キッズスペース



ショールーム



納車スペース



受付

# 川口支店



2018年1月9日、東京日野自動車株式会社の新たな拠点としてオープンした川口支店。整備事業をはじめ、新・中古車、保険、自動車部品販売など、ほぼすべての機能を持ち合わせた総合型店舗としてお客様の期待に応え、地域ナンバーワンを目指します。

●店舗情報  
**東京日野自動車株式会社 川口支店**  
 埼玉県川口市安行領家834  
 TEL : 048-291-5630  
 従業員数：64名  
 (サービス：18名)



●今回お話を伺った方



支店長 中川 重人 様  
 部整備 工場長 荒井 則尚 様  
 部整備 副工場長 鷹架 孝則 様

## お客様へのトータルサポートを実現！ 圧巻のスケールを誇る総合型店舗が誕生

同社で最多ストール数を誇る川口支店。整備ストールは中・小型トラックへの対応力を高め、車両動線の改善を図った安全で効率的なレイアウトとなっています。「ツインパワーリフト」は、大型車用、中・小型車用としてそれぞれ2柱式を導入し、中・小型車用については、1ストールにリフトを2台並べた縦列で使用しています。リフト上昇・下降時は足元が完全フラットになるため、作業中も安全で良いですね(荒井工場長)。ホイールドリーは立ち姿勢のままタイヤ脱着作業ができる「タッタラー」を導入。「新狭山支店で実績があり、メカニックの身体負担軽減の観点から好評だったため、川口支店でも導入することになりました。車両をリフトアップした状態で作業できる点も良いと思います。これから使い慣れていきたいですね(鷹架副工場長)。

別棟にある板金・塗装ブースは、板金4ストール、塗装3ストールを完備しています。塗装ブースは、大型トラック・バスに対応する大型設計です。中でも好評なのは、ブース内に併設したエア式ゴンドラリフトです。「これまでは台車を複数台置いて塗装を行っていましたが、エア式ゴンドラリフトは乗車して即作業に入ることが出来ます。ゴンドラはレールに沿って360度スムーズに移動し、上下・前後の移動もスイッチで簡単に操作できるので、稼働性がとても良いと思います(荒井工場長)。

### 営業担当者の声

#### 営業担当者の声

川口支店様は最先端の設備を取り入れた最新工場として、整備事業者からの注目度も非常に高い店舗です。この度は当社の最新鋭の整備機器を選んでいただき、新工場のオープンに携われたことを大変嬉しく思います。今後も皆様のご期待に応え、アフターサービスを含め、より一層お役に立てるよう努めてまいります。(関東支店 下村)



▲「2柱式ツインパワーリフト」は整備ストールに大型車用12基中・小型車用6基を導入。増加する小型トラックへの対応力を高めたレイアウト

▶各ストールに設置された「作業時間確認用タイマー」。メカニックの実作業時間や工数を計測し、生産性向上のためのデータを集計



動画公開中!



▲工場内に敷かれた専用レール上を走り、自動で部品を運ぶ「自動搬送機」。メカニックは専用パソコンで部品を注文し、ストールで到着を待つだけ。移動にかかるタイムロスカット



▲塗装ブース内にはレールに沿って360度広範囲に移動できる「エア式ゴンドラリフト」を導入し、高所作業の安全性・作業性を向上

動画公開中!



▲フロントカウンターにあるお客様をお迎えるための大型モニター。スタッフの顔写真などを表示し、おもてなしを演出

1 整備ストール(中・小型車用)  
2柱式ツインパワーリフト(12t/30t)

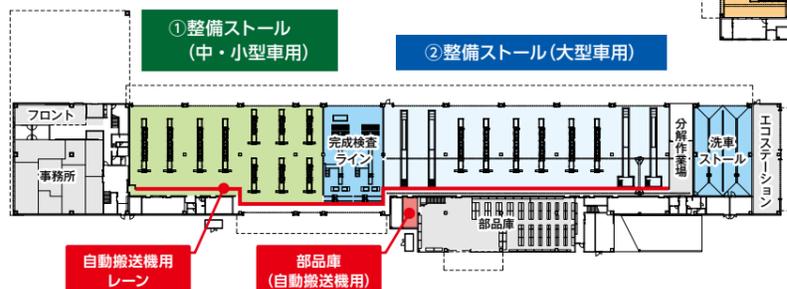
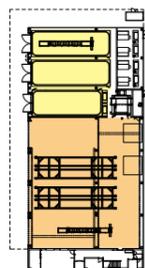
3 板金ストール  
2柱式ツインパワーリフト(30t)

2 整備ストール(大型車用)  
2柱式ツインパワーリフト(30t)

4 塗装ストール  
2柱式ツインパワーリフト(30t) + 大型塗装ブース+エア式ゴンドラリフト

④ 塗装ストール

③ 板金ストール



掲載機器の詳細カタログはこちら

# ANZEN100年の歩み

2018年5月3日、当社はおかげさまで創立100周年を迎えます。この100年という歴史を積み上げることが出来たのも、長きに渡りたくさんのお客様の支えがあったからこそ心より感謝申し上げます。今回の特集では、あまり知られていない創業当初を振り返りながら、当社の挑戦の歴史をご紹介します。

## 創業期

### 1918

#### 安全自動車の誕生

1906年、21歳の若さで渡米した創業者の中谷保は、事業家としての第一歩を踏み出します。T型フォードが発売され、海外で自動車社会が訪れるのを目の当たりにした保は、日本にも必ずこの波がやって来ると確信し、帰国後に自動車販売事業へ進出。安全自動車の歴史は、東京・元赤坂で自動車と自動車部品の輸入販売を開始したことに始まります。



創業者の中谷保



当時の社屋。「安全の創立は“七五三”（大正7年5月3日）」という暗記法は今でも社員の間で受け継がれている

## 創業期

### 1919

#### 日本初の地下タンク式ガソリンスタンドを設置

安全自動車はガソリンスタンドの経営にも着手し、日本で初めて地下埋設型のタンクを採用、拠点数は160カ所を数えるまでに成長します。1923年の関東大震災では、多くのガソリンスタンドが被災して営業できなくなる中、地下タンク式だった当社のガソリンスタンドは被害が少なく、震災直後でも奇跡的にガソリンを提供することができました。鉄道が麻痺状態の中、当時のライフラインを支えたのは自動車であり、この震災復興が自動車普及発展の大きな転機となっていきます。



ライジングサン石油会社（現：昭和シェル）と特約を結ぶ



ガソリン券の販売、和服美人による給油、深夜給油などアイデアを次々と商品化



## 企業理念 — 交通報國

商品やサービスの提供を通じて、クルマ社会の品質向上や交通安全、地球環境の保全に貢献いたします。

## 事業の拡大期

### 1927~

#### 「ダッチ」日本総代理店に

関東大震災の復興とともに経営が好転していくと、1927年には、米国の乗用車「ダッチ」（現在のFCA）の日本総代理店となり、事業を大きく拡大していきます。自動車の生産・組み立て、バス会社運営などの周辺事業、さらにはホテル事業など多角経営化を進めたのもこの時代です。



ダッチのショールームはモダンなレイアウトで多くのお客様の目を引いた



1938年に開発試作した純国産乗用車「日光号」は、戦時中の乗用車生産停止の方針により幻の車となった

## 復興・再発展期

### 1945~

#### 自動車整備機器事業に本格参入

1945年8月15日に第二次世界大戦が終結すると、事業の軸足を自動車整備用機械工具の製造販売に移すことで、再び成長への扉を押し開けていきます。車検「三種の神器」と言われたヘッドライトテスター、サイドスリップテスター、ブレーキテスターなどを次々に開発。やがてこの部門が経営の主流となっていきます。



戦後の当社は東京溜池で機械工具、用品・部品の販売から出発した

## 復興・再発展期

### 1964~

#### 高度経済成長を支える

1964年、代表取締役長に長男の保平氏が就任。新体制のもと、車検機器の性能向上、高度な自動車整備用機械工具の開発など時代が求める製品開発を加速させていきます。同時に商社としての体制を整え、全国規模の販売網を構築していきます。



海外でも注目された当社の検査機器



作業効率の向上を図る車検整備システム

## 創立70周年

### 1986~

#### 創立70周年を迎える

1986年、3代目として中谷良平が社長に就任（現会長）。翌年、メーカー向けアライメントテスター「R-SWAT」を発売し、1988年には整備工場向けアライメントテスター「G-SWAT」が誕生。また、1999年にイタリア・パトラー社とタイヤチェンジャーの代理店契約を結び、パトラー製品の輸入・販売が始まります。2000年にはツインパワーリフトの新開発など、当社の代名詞となる商品が次々と誕生します。



整備業界で注目を集めた四輪アライメントテスター「G-SWAT」



全自動ヘッドライトテスター「HLI-1000」はグッドデザイン賞を受賞



次々に発売した当社の車検機器  
ヘッドライトテスター「HLI-1A」  
ブレーキテスター「SBT-10」  
サイドスリップテスター「SWB-2」

## 創立90周年、100周年に向けて

### 2008~

#### 新たな100年に向けて

2008年4月1日、次代を担うリーダーとして中谷宗平が社長に就任。日々進化を続ける自動車産業の中で、自動車整備用機械工具の販売などを行うアフターマーケット事業、メーカー向けの検査設備を手がける特販事業、両事業ともにさらなるお客様からの信頼を得るため、技術・サービスの強化を継続的に推進してまいります。初代、中谷保が唱えた企業理念『交通報國』を通して、社会の発展と社員の人間力向上に貢献できる魅力のある企業を目指し、安全自動車の挑戦の歴史はこれからも続きます。



日頃鍛えた技術を競い合う「サービス技能コンクール」を開催



効率化・省力化を実現する最新機器をご提案

# 100

感謝の心 つなぐ未来  
交通報國100周年

さらなる飛躍に向けて  
安全自動車は進化を続けます!